

外国人研究員の受入れ

本研究所は、これまで、所員を海外に出張させると同時に多くの外国人研究者を受入れることによって、海外諸大学・研究機関との間の学術交流を深めることに努力してきた。海外から受入れた研究者は次のとおりである。

氏名	国籍	研究期間中の身分	研究題目	期間
Allan Spitz	米	ミンガン州立大学教授	近代日本政治史	1955. 10~1956. 8
David S. Sissons	英	オーストラリア国立大学講師	戦後日本の政治分析	1956. 9~1961. 6
P. P. Topekha	ソ連	ソ連・アジア民族研究所所員	日本労働運動史	1957. 9~1957. 10
Francine Hérial	仏	パリ、東洋語学校研究員	奈良時代における日本の社会制度体制	1961. 9~1961. 10
Albert Soboul	仏	クレルモン・フェラン大学教授	フランス革命及び農業土地制度	1961. 10~1961. 12
J. A. Stockwin	英	オーストラリア国立大学研究員	戦後日本の政党	1962. 2~1963. 1
Christopher Hill	英	オクスフォード大学教授	17世紀イギリス革命史	1962. 3~1962. 4
Tetsuo Najita	米	ハーバード大学歴史学部大学院博士候補	日本近代史	1962. 4~1963. 7
G. M. Wilson	米	イリノイ大学歴史学部助教授	北一輝の研究	1962. 5~1962. 9
C. E. Labrousse	仏	パリ大学教授	18, 19世紀のヨーロッパ社会経済史	1963. 2~1963. 8
Charles Haguenuer	仏	パリ大学教授	日本の古代(平安時代)文法	1963. 7~1964. 1
Seymour Broadbridge	英	ロンドン大学東洋研究所所員	1945年以降の日本経済の発展	1963. 7~1964. 6
Gail Bernstein	米	ハーバード大学歴史学部博士候補	現代日本史(河上肇の研究)	1963. 10~1964. 3
David S. Sissons	英	オーストラリア国立大学講師	戦後日本の政治分析	1963. 10~1964. 4
Bahrrin Jahya	インドネシア	インドネシア国家企画委員会生産部門技術幹事	経済開発計画	1963. 10~1964. 9
黄 東 駿	韓国	ソウル大学校講師	イギリス憲法の研究	1963. 10~1964. 9
Fritz Lebenbach	米	ミンガン大学政治学部大学院博士候補	日本の政党における政策決定過程	1964. 5~1966. 9
Zdeňka Vasiljevoá	チェコスロバキア	カレル大学講師	日本の昭和政治史	1964. 6~1966. 5
Michael A. Leiserson	米	エール大学政治学部大学院博士候補	現代日本政治事情	1965. 9~1967. 9
Ehud Harari	イスラエル	カリフォルニア大学政治学部大学院博士候補	戦後日本の労働問題	1965. 10~1967. 9

氏名	国籍	研究期間中の身分	研究題目	期間
Catherine Cadou	仏	(日本文部省外国人給費) 研究生	近代日本の経済状況	1966. 4~1967. 4
Richard Smethurst	米	ミシガン大学歴史学部大学院博士候補	在郷軍人会の研究	1966. 4~1966. 9
Henry D. Smith	米	ハーバード大学歴史学部大学院博士候補	大正時代の学生運動	1966. 6~1967. 6
Akira Kubota	米	ミシガン大学日本研究所研究員	青年の政治的態度	1966. 7~1967. 6
R. Boutruche	仏	パリ大学教授	比較法制・経済史	1966. 7~1966. 10
James F. Hoare	英	ロンドン大学東洋研究所所員	1868年~1899年の日本における外国人居住問題	1966. 9~1967. 3
Patricia Golden	米	ハーバード大学社会関係学部大学院博士候補	転向問題の社会学的研究	1966. 10~1967. 9
George Akita	米	ハワイ大学歴史学部助教授	日本政治史	1967. 8~1968. 8
Gordon M. Berger	米	エール大学政治学部大学院博士候補	現代日本史 1930~45 (大政翼賛会について)	1967. 10~1969. 5
Kenneth Y. Sagawa	米	ウイスコンシン大学歴史学部大学院博士候補	原敬内閣の政策決定過程	1968. 7~1971. 6
Richard Anthony Yasko	米	シカゴ大学歴史学部大学院博士候補	平沼麒一郎研究	1968. 8~1969. 5
Dalmer D. Hoskins	米	ミシガン大学政治学部博士候補	日本の社会保障制度の政治的な面について	1968. 9~1969. 5
Irwin Scheiner	米	カリフォルニア大学助教授	明治期における集団的政治運動	1968. 12~1969. 10
Irwin Scheinre	米	カリフォルニア大学歴史学部助教授	明治社会史と思想史 社会臣民史	1969. 1~1969. 12
Tetsuo Najita	米	ウイスコンシン大学歴史学部助教授	日本近代政治思想史	1969. 2~1969. 8
John C. Campbell	米	コロンビア大学政治学部博士候補	予算決定過程の研究	1969. 2~1970. 9
Gavan McCormack	豪	ロンドン大学東洋研究所員	1920年代における満州をめぐっての日中関係	1969. 5~1970. 9
安 秉 直	韓国	ソウル大学校商科大学講師	植民地下朝鮮の国際収支と資本流出入	1969. 5~1970. 8
David G. Egler	米	アリゾナ大学歴史学部博士候補	現代日本歴史	1969. 9~1971. 6
Roger W. Benjamin	米	ミネソタ大学政治学部助教授	政治参与	1969. 10~1970. 12
Deswarte Benédicte	仏	(日本文部省外国人給費) 留学生	日本における農村社会の変化と農民運動の展開	1969. 10~1971. 3
Leslie Russell Oates	豪	メルボルン大学文学部講師	中野正剛を中心とする日本の右翼思想	1969. 11~1970. 5
Terry Macdougall	米	エール大学政治学部大学院博士候補	日本の大都市における政党政治——多党化の研究	1970. 8~1972. 1

氏名	国籍	研究期間中の身分	研究題目	期間
Esmein Jean Charles	仏	パリ大学日本研究大学院教授	日本及び中国近代史 (明治、大正期)	1970. 9~1972. 8
Catherine Cadou	仏	(フランス政府奨学金研究留学生)	日本の経済的發展およびそれに関する経済学説の研究	1970. 9~1971. 9
Richard L. Staubitz	米	エール大学歴史科博士候補	明治における地方自治体機構の設立	1970. 9~1972.12
William D. Wray	カナダ	ハーバード大学歴史学部博士候補	日本近代史 日本郵船会社	1971. 4~1974. 3
Margaret Dardess	米	コロンビア大学歴史学部博士候補	中江兆民の政治思想	1971.10~1972. 7
Omar Martineu Legorreta	メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ東洋研究所教授	日本現代の高等教育	1972. 3~1972. 8
Willie T. Nagari	米	コロラド大学助教授	賀川豊彦とその時代	1972. 4~1973. 5
George A. R. Silver	米	エール大学歴史学部博士候補	1930年代における保守主義——比較ファシズム研究	1972. 2~1972. 8
Aurelia D. Pery Johnston	ニュージーランド	ウエリントン大学講師	現代日本政治における利益団体特に米価決定の問題について	1972.10~1974. 9
Michael F.J. Connors	英	シェフィールド大学博士候補	日本の賃金体系	1972.11~1974. 3
Solomon. B. Levine	米	ウイスコンシン大学教授	日本の労資関係	1973. 1~1973. 6
Mikiso Hane	米	ノックス大学歴史学教授	昭和前期の政治指導者	1973. 3~1973. 9
Stephen Gregorg Vlastos	米	カリフォルニア大学歴史学部博士候補	明治15年の福島自由民権運動とその背景	1973. 4~1974. 3
Gavan Mcokmrk	英	リーズ大学東洋史講師	現代極東史満州事変前後の日・中経済関係	1973. 7~1974. 3
Ehud Harari	イスラエル	テルアビブ大学講師	日本の審議会の政治的な機能	1973. 9~1974. 9
John Derek Crump	英	シェフィールド大学	日本労働者の階級運動における革命の概念	1973.10~1975. 3
Daniel Okimoto	米	ミシガン大学博士候補	政治文化	1973.10~1975. 9
James Henry Raphael	米	ミシガン大学大学院博士課程在学	大正期の満州政策	1973.11~1975. 8
David S. Sissons	豪	オーストラリア国立大学講師	日・豪関係史について	1973.11~1974. 1
J.A.A. Stockwin	英	オーストラリア国立大学助教授	日本の野党の近代政策と政治	1974. 1~1974. 6
李 徳 清	インドネシア	インドネシア科学院国立文化研究所長	日本の政治外交史	1974. 1~1974. 7
Savitri Vishwanathan	インド	デリー大学講師	日本の住民運動・公害問題	1974. 3~1974. 9
Sung Jo Rark	韓国	ルール大学教授	アジア諸国の開発計画および政策	1974. 7~1974.10

氏名	国籍	研究期間中の身分	研究題目	期間
Leslie Russell Oates	オーストラリア	メルボルン大学講師	戦前の右翼思想(中野正剛と関連分子を中心に)	1975. 1~1975. 7
Elise Kurashge Tipton	米	インディアナ大学	警察と戦前日本右翼の弾圧	1975. 2~1976. 1
Richard Staubitz	米	エール大学助教授	明治地方自治制の研究	1975. 5~1975. 8
Glenn Hoak	英	ランカスター大学大学院学生	日本の子供の平和の概念の研究	1975. 5~1976. 9
Akira Kubota	米	ウインザー大学助教授	コンピューターによるマス及びエリート政治意識の研究	1975. 9~1976. 8
James Elliott	英	クイーンズランド大学講師	政治とビジネスの関係	1975. 9~1976. 1
Theodore Failor Cook	米	プリンストン大学大学院学生	日本の将校——出身・教育・経歴の変遷	1975.10~1976. 9
Bernard Daniel Quinlan	米	ハワイ大学大学院学生	明治大正政治外交史	1976. 1~1977.12
T.J. Pempel	米	コーネル大学助教授	日本官僚制	1976.12~1977. 8
Alan Gordon Rix	オーストラリア	オーストラリア国立大学大学院学生	日本の経済協力の決定過程	1976. 2~1977. 2
Uayne A. Koonce	米	ハーバード大学大学院学生	原子力開発, 日本の環境における住民団体, 行政問題	1977.10~1978. 9 (予定)
John Creighton Campbell	米	ミシガン大学助教授	日本における老人向け政策	1977. 9~1978. 6 (予定)